

## 台風18号に対する被害防止対策について

対策をとりまとめましたので現地での被害防止に万全の指導をお願いします。

### 普通作物

#### 1 水稲

##### 1) 応急的事前対策

- ・浸冠水被害を考慮し、排水溝の清掃、補修や畦畔の補強を行う。
- ・強風による脱水を防ぐため、落水後の水田でも湛水しておく
- ・成熟期間近な稲はできるだけ台風到達までに刈り取る。
- ・架干し中のものは、稲架の補強を十分に行う。

##### 2) 事後対策

- ・浸冠水の場合は一刻も早く排水する。
- ・倒伏したものは、できるだけ早く株起こし、株上げなどを行う。
- ・高潮により塩水が流入した水田では、淡水の灌排水を繰り返して除塩する。

#### 2 大豆

- ・排水対策を行い、地表の湛水は速やかに排除する。
- ・雨を伴わぬ強風やフェーン現象などがみられる場合は速やかに畦間灌水などをして吸水を促す。

### 野菜

今回の台風は強風、大雨による大きな被害の発生する恐れがあるので以下の対策を徹底する。

#### 1 ハウス対策

##### 1) 事前の対策

- ア) 天窓、側窓、出入口等は開かないよう密閉、固定する。被覆資材は押さえ金具、バンドのしめなおし、バンド固定パイプの補強、屋根、妻、接地部のビニルのたるみ破れを補修する。骨組や、防風ネットはしっかりと固定補強する。
- イ) 排水溝を整備し、大雨に備える。
- ウ) ハウス周囲を清掃し、木片などの飛来をなくす。
- エ) 休閑ハウスはビニルを除く。
- オ) 強風下では換気扇をまわし、内部に負圧をかける。
- カ) 強風下頻繁に点検して破損は見つけ次第補修するとよいが、人の安全を優先し、無理な作業を避ける。
- キ) 換気せざるを得ない場合は風下側で行なう。
- ク) フィルムの破損が著しい場合メロン、トマトは誘引紐を切ってつるを倒し、ハウレンソウではカンレイシャ等を直掛けする。
- ケ) 最悪の場合パイプハウスでは人の安全を確かめながら被覆フィルムを風下側から裂き、ハウスの倒壊を防ぐ。

##### 2) 事後対策

- ア) 風が弱まったら風下側から順次開いて換気し、骨組の変形、緩み、フィルムの破れは

補修する。

- イ) たまった水はただちに排出する。畝から浸出する水も通路の穴を掘って集め排出する。
- ウ) 支柱、誘引紐の切れ、緩みは点検立て直す。
- エ) 速効性の液肥を施用して草勢の回復を図る。
- オ) 出荷可能な果実は収穫する。折れた枝、傷果は除く。
- カ) 成熟期の抑制メロンでは正常葉10枚程度の能力のある株は果実糖度の様子を見て収穫時期を決める。
- キ) 殺菌剤を散布する。

## 2 露地野菜

### 1) 事前の対策

- ア) 防風ネット、支柱の補強、排水溝を整備し、出荷可能な果実は収穫する。
- イ) ナス、キュウリ等は強風が茎葉を直撃するようであれば支柱を倒す。
- ウ) ブロッコリー等では土寄せして株元を補強する。
- エ) いちご、たまねぎ等の苗床はカンレイシャを直掛けする。

### 2) 事後対策

- ア) たまった水は直ちに排出し、根を傷める恐れのない場合は中耕する。イチゴ等汚れた葉は洗う。
- イ) 支柱を整理し、倒した支柱をたてなおす。
- ウ) 出荷できるものは早めに収穫し、折れた枝、傷果等は除き、速効性液肥の施用葉面散布を行なう。
- エ) 降雨後殺菌剤を散布する。

## 果 樹

### 1. 事前対策

#### (1) 施設

- ・ 収穫が終わったハウスで被覆のビニールがある場合は直ちに除去し、ビニールの破損やハウスの被害を防止する。
- ・ 被覆している場合は風下のサイドの一部を風抜きように開け(ネットはあって良い)筋交(ｽｼﾞｶｲ)を入れハウスの強度を高める。また、押さえのバンド等の締め直しをする。
- ・ 被覆したハウスが倒壊しそうな時は、風下側からビニールを切り裂く。
- ・ 果樹棚はフレ止めの控え線、突き上げ柱ともにしっかり固定しておく。
- ・ 飛散して被覆を破損しそうな物を施設周囲から除去しておく。

#### (2) 露地・作物

- ・ 収穫できるものは強風前にできるだけ収穫しておく。
- ・ 風当たりの強いところでは、支柱による倒伏防止や枝裂け防止の誘引等を行う。
- ・ 西条柿で反射マルチを行っている園は、風で飛ばされるおそれがあるので除去する。
- ・ なしの晩生種は落下しないように果実をネット等で保護する。
- ・ 柿は大雨による滞水で根の障害を受けると、樹上軟化の多発生が予想されるので表面排水

が速やかに園外へ排出されるように園内排水溝をもうける。特に粘質土壌でタコツボにより植え付けされたところでは注意が必要である。

- ・なしでは大雨により滞水すると根の障害から早期落葉となるので、表面水の速やかな排水対策を行う。

### (3) その他

- ・傾斜地の果樹園では、今後の大雨によって崩れる心配があるので特に注意を要する。

## 2. 事後対策

### (1) 施設

- ・果樹棚が倒壊した場合には、下から防除できる程度に持ち上げ、薬剤散布を行いその後に棚の修復をする。

### (2) 露地・作物

- ・葉、果実等に傷が多くついており病菌の侵入が予想されるので、雨があがったら直ちに殺菌剤を散布する。
- ・沿岸部を通過した場合は、潮害の恐れもあるので台風通過後に降雨がなければ、葉の塩分付着状況(なめて判断)を見て多量の散水を行う。
- ・倒木は新たに根が切れない程度に引き起こし、主幹部の地際部に盛り土をして踏みつけ、晴ればかん水して乾燥を防ぎ、再び揺すられないように支柱でしっかり固定をする。
- ・太い枝が折損した場合は枯れ込みが入らないように、ひび割れた部分は切り返して保護剤を塗る。
- ・葉の破れ等が著しい樹や、新梢が折損した樹で新しい芽が伸びてきた場合は新葉2～3枚で摘心し、成葉化をはかる。
- ・樹勢回復には有機質を主体とした肥料を施す。(ただし遅伸びを助長するような多量のNの施用はしない。)
- ・落葉や葉の破れ等が大きく、果実がついている場合は葉数(葉面積)に見合うように摘果する。ただし、柿では全落葉でも着色するので、軟化した果実や損傷の程度が大きいもの、果実の小さいものを最初に除く。
- ・降雨が少なく強風の場合には、塩害の恐れがあるので、場合によっては来襲時または直後の散水も効果がある。

### (3) その他

- ・樹体の障害は被害直後から徐々に現れてくるので、数日間は樹園地を回り樹(果実、葉等)の変化を観察する。

## 花 き

### 1. 事前対策

- ・強風により、倒伏、茎折れ、花、葉の損傷、黒変等生じるので、支柱立て誘引の補強を行う。また、防風ネットの補強修理を行う。
- ・木片、小石等の飛来により、ビニールやガラスが破損するので、ビニールハウス等施設周辺の片付けを行なう。

- ・ビニールハウスはビニールの破れ箇所の補修、押さえバンドの補強、押さえバンド取り付けパイプの浮き上がり防止をする。また天窓や横窓等隙間が出来ないように修理しておく。
- ・強風時は天窓、側窓、出入口は密閉固定する。  
ビニールハウスで中に作物が栽培されていない場合は、前もってビニールを剥いておく。作物が栽培されている場合は、密閉するがハウスが強風に耐えられないと判断されるときはビニールを切り裂き倒壊を防ぐことも考慮する必要があるが、あくまでも人の安全を優先して行なうようにする。
- ・大雨に対しては圃場周辺の排水路や排水口を掃除して水の流れをよくしておき、一時的な増水による圃場内への浸水を防ぐとともに、圃場内の水が速やかに圃場外へ流れ出るようにする。場合によってはポンプによる強制排水も必要となる（ポンプと燃料のチェック）。
- ・収穫期に達している作物は早めに収穫する。

## 2. 事後対策

- ・圃場内の停滞水は速やかに排水し、過湿による障害発生を防ぐ。冠水により汚泥を被った株は、灌水で洗い流す。
- ・倒伏した株は引き起こし、支柱の立て直しや誘引をやり直す。定植間もない苗で状況から見て植えかえたほうがよい場合は、早急に苗の手配または播き直しを行う。
- ・被害の激しい株や落葉、枯葉は取り去って園内を清潔にする。
- ・病害発生防止のためジネブ水和剤500倍液、銅水和剤500倍液等の殺菌剤を散布し予防する（害虫にも留意する）。
- ・生育状況によっては、草勢回復のため、薄い濃度で葉面散布を2～3回行う。
- ・マルチ栽培で浸水により土壌が過湿になっている場合は、マルチを除き土壌を乾かすようにする。
- ・大雨後の根が弱った状態で強光線、乾風に会うと、急激な萎れが生じやすいので、日除けや葉水等を短期間行って茎葉の萎れを防止する。
- ・風台風の場合、台風の通り方によっては塩害の恐れもあるのでその場合は、ただちに植物体を水で洗い流す。
- ・ビニールの破損、パイプの曲がり等の補修を行う。

## 畜産

### 1. 事前対策

- ・板、トタン等が外れて音が発生すると、牛が驚き思わぬ事故につながるので牛舎周りを再点検する。
- ・風雨により乾草等飼料作物が濡れて、品質が低下しないよう、安全な場所に移動させる。
- ・飼料作物は、雨害に備えて、排水溝の点検補修を行う。
- ・家畜糞尿が流失しないようにする。

### 2. 事後対策

- ・地表の滞水を速やかに排除する。
- ・牛舎内等への浸水が発生し、病気等の発症したら直ちに診療を受ける。
- ・飼料作物は被害程度により収穫調整作業を早め、冬作物への切り替えを進める。